

Ⅱ 火災の概要

1. 火災の概要

(1) 出火件数と出火率

令和3年（1月～12月）の出火件数は369件で、前年に比べて49件減少しており、全都道府県中では、第15位となっている。

また、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2.8件となっており、全国平均（2.8件）と同数になっている。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が187件（50.7%）で最も多くなっている。また、林野火災は12件で、前年に比べ8件増加した。

1日当たりの出火件数は1.0件（前年1.1件）で、無火災の市町村は黒滝村、野迫川村の2村である。

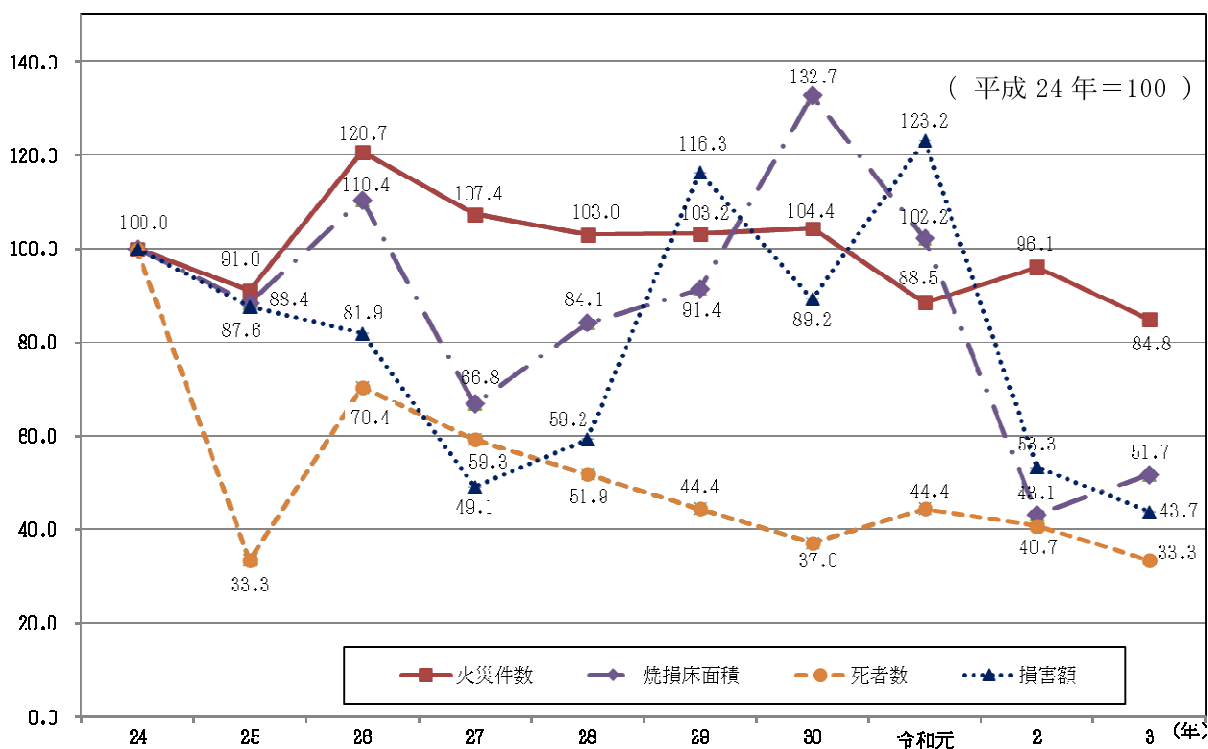
火災種別出火件数

(単位：件)

区 分	令和2年	令和3年	対 前 年 比 較	
			増 減 数	増 減 率 (%)
建 物 火 災	170	187	17	10.0
林 野 火 災	4	12	8	200.0
車 両 火 災	46	33	△ 13	△ 28.3
そ の 他 火 災	198	137	△ 61	△ 30.8
合 計	418	369	△ 49	△ 11.7

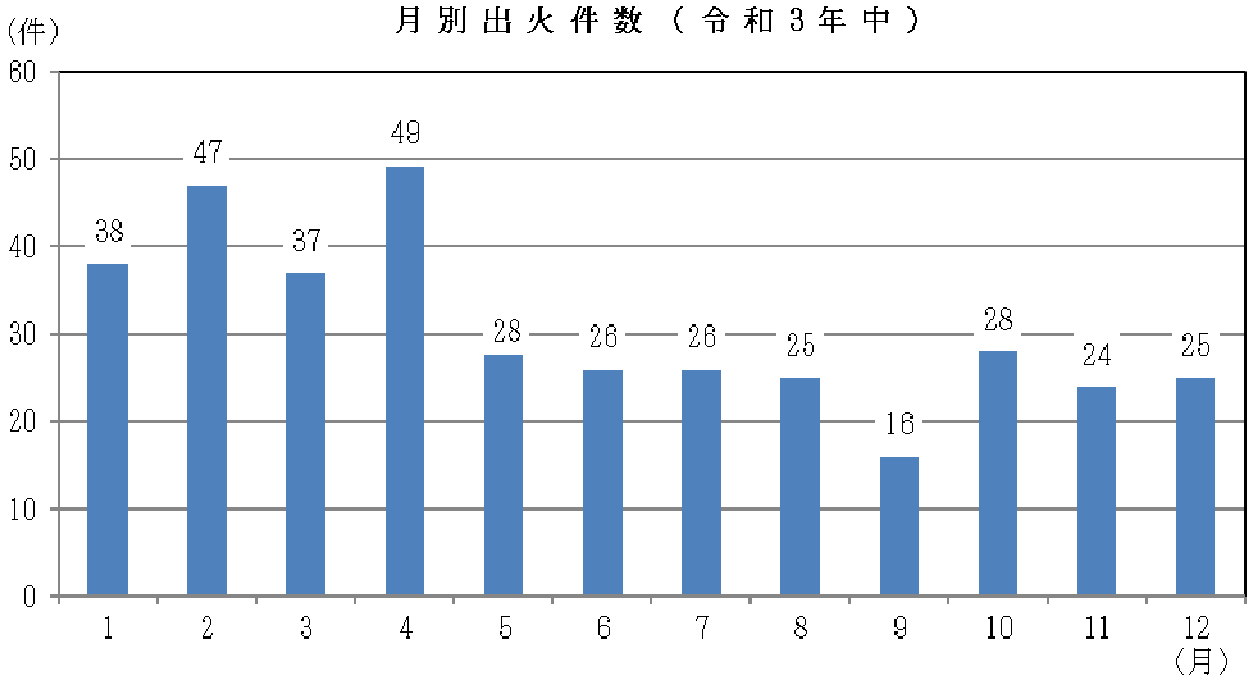
(%)

火災の傾向



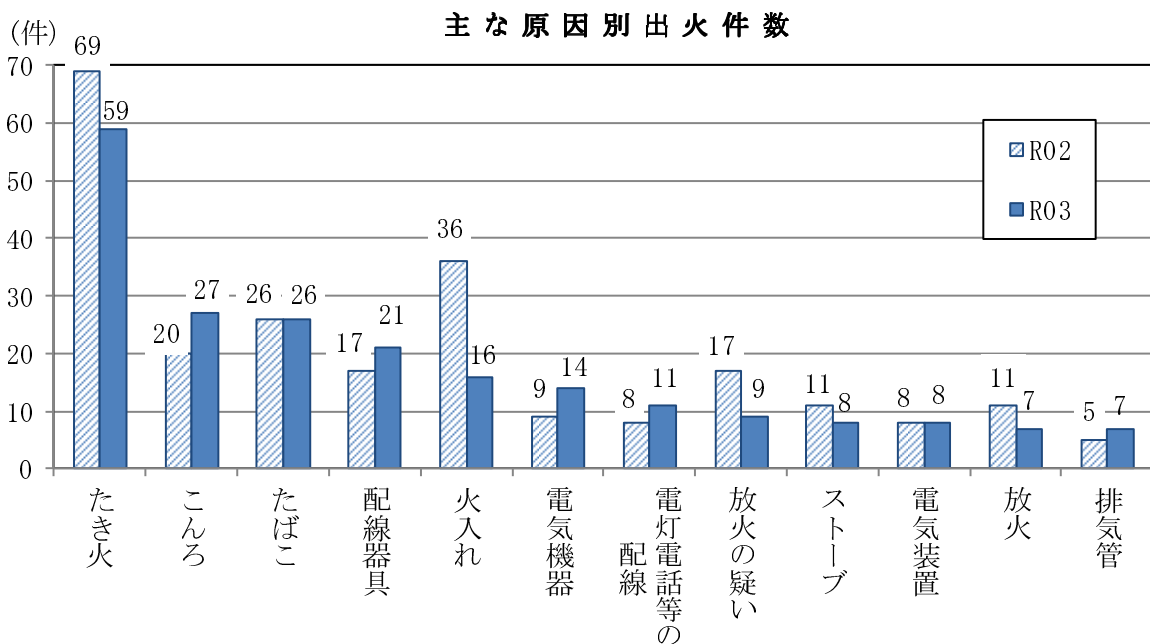
(2) 月別出火状況

月別の出火件数は、4月が49件（全体の13.3%）で最も多く、次いで2月の47件（12.7%）、1月の38件（10.3%）となっており、最も少ない月は、9月の16件（4.3%）である。



(3) 出火原因

出火原因の大半は、放火や火の不始末、不注意から発生している。令和3年中（1月～12月）の出火原因の第1位は、「たき火」による火災が59件（16.0%）、第2位が「こんろ」によるもので27件（7.3%）、第3位は「たばこ」によるもので26件（7.0%）となっている。



(4) 焼損棟数と焼損面積

令和3年中（1月～12月）の火災の建物焼損棟数は264棟で、前年に比べ39棟（17.3%）増加し、そのうち全焼は51棟（前年56棟）で、焼損棟数合計の19.3%を占めている。建物焼損床面積は6,622㎡で、焼損表面積は1,316㎡であった。

また、林野焼損面積は265aで、前年に比べ195a増加した。

	建 物							林 野		
	火災 件数 (件)	焼 損 棟 数 (棟)					焼 損 面 積 (㎡)		火災 件数 (件)	焼 損 面積 (a)
		計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	床面積	表面積		
令和元年	190	279	68	21	90	100	13,079	875	7	1,266
令和2年	170	225	56	15	58	96	5,522	883	4	70
令和3年	187	264	51	10	80	123	6,622	1,316	12	265

(5) り災世帯とり災人員

令和3年中（1月～12月）の火災でり災した世帯数は144世帯で、前年に比べ10世帯増加し、そのうち全損は25世帯で、全体の17.4%を占めている。

また、り災人員は342人で、前年に比べ54人増加した。

り災世帯とり災人員

	り 災 世 帯 数 (世 帯)				り 災 人 員 (人)	1日当たり り災人員 (人)
	計	全 損	半 損	小 損		
令和元年	183	51	11	121	417	1.1
令和2年	134	27	7	100	288	0.8
令和3年	144	25	4	115	342	0.9

(6) 死傷者数

令和3年中（1月～12月）の火災による死者は9人で、前年に比べ2人減少しており、建物火災によるものが5人、車両火災によるものが3人、その他によるものが1人であった。また、死因は、一酸化炭素中毒が5人、自殺が2人、火傷が1人となっている。

一方、負傷者は64人で、前年より9名増加した。

死 傷 者 の 数

(単位：人)

	死 者										負 傷 者
	計	年 齢 別						性 別			
		20歳 以下	21～ 40歳	41～ 60歳	61～ 80歳	81歳 以上	不明	男	女	不明	
令和元年	12	0	2	0	5	5	0	9	3	0	66
令和2年	11	0	1	2	5	3	0	6	5	0	55
令和3年	9	0	0	0	8	1	0	5	4	0	64

火災種別及び出火時間帯別死者数

(単位：人)

	合計	火災種別				出火時間帯別						
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	0～ 4時	4～ 8時	8～ 12時	12～ 16時	16～ 20時	20～ 24時	不明・ 調査
令和元年	12	9	0	2	1	2	2	0	0	3	5	0
令和2年	11	8	0	0	3	2	2	3	1	1	1	1
令和3年	9	5	0	3	1	0	3	0	1	3	1	1

死に至った経過別及び死因別死者数

(単位：人)

	合計	死に至った経過別						死因別					
		逃げ 遅れ	出火後 再侵入	着衣 着火	放火 自殺	その他	不明	火傷	一酸化 炭素中 毒・窒 息	打撲・ 骨折等	自殺	その他	不明
令和元年	12	4	0	1	3	2	2	1	7	0	3	0	1
令和2年	11	3	0	0	4	0	4	2	5	0	4	0	0
令和3年	9	3	0	0	2	1	3	1	5	0	2	1	0

(7) 損害額

令和3年中（1月～12月）の火災による損害額は5億8,094万円で、前年に比べ1億2,711万円減少した。うち建物火災は5億4,661万円で、全体の94.1%を占めている。

また、火災1件当たりの損害額は157万円で、1日あたりに換算すると、159万円が毎日灰になっていることになる。